

令和元年度及び中期目標評価（4年終了時）に係る公立大学法人福知山公立大学業務実績報告書に係る評価結果一覧表

中期計画番号	中期計画	法人自己評価	評価委員会による評価結果（中期計画）						備考	年度計画番号	年度計画	法人自己評価	評価委員会による評価結果（年度計画）									
			評価結果（案）	A	B	C	D	E					平均値（参考）	評価のポイント・委員会確認事項	評価結果（案）	A	B	C	D	E	平均値（参考）	評価のポイント・委員会確認事項
<b>第4 教育研究等の質の向上に関する目標</b> <b>1 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置</b>																						
1	大学の理念の実現と発展に必要な長期的な戦略を計画し、地域に根ざし、世界に通用する高い専門能力と多角的な視点を持ち、さらに、地域社会の様々な分野におけるニーズに対応した指導的役割を果たせる人材を育成するための自由な発想と行動力、分析企画力、実行力、公共マインドを涵養する。	4		4	4	3	3	4	3.6	(C委員) 2019年度に実施した具体的な取り組みは評価でき、年度評価としての4は理解できる。ただ、中期計画が「、、、公共マインドを涵養する。」となっているのに対し、「、、、育成における方向性の確立に努めた。」と中間時期でどの程度計画が達成されたかについての記述が弱く、4の評価は適当でない。 (D委員) この評価が新基準に基づくものだとすると、適正なプロセスを経て過去3年分の評価が確定しているにも関わらず、ここにきて新しい基準で4年分の評価をすることは不適切です。また、4年間の中期計画の評価は、過去4回の年度計画の評価の平均値を基本とするべきであり、それと異なる評価をする場合は相当する合理的理由が必要で、それが確認できないので3が妥当と考えます。	1	4									3.6	(B委員) 年度計画どおりの実績に読み取れる (D委員) 年度計画の評価基準は、道理に合わない（不適当な）余程の事情が無い限り、6年間の途中で変えるべきではないと考えます。その事情の説明がなされなかったため、昨年までの基準により3が妥当と考えます。
										2	3							3.0	・一部の授業では、学外講師を招聘することにより、自由な発想と行動力、分析企画力、実行力、公共マインドを養成する。その適切性は、学生の授業評価アンケートなどから検証する。学外講師にも本学の3ポリシーを意識頂くよう努める。教務委員会で学外講師のカリキュラム上の必要性と位置づけを明確にする。また、FD委員会とも協力し専任教員への大学の理念の浸透を図る。			
2	幅広い視野と豊かな人間性を涵養し、創造的 思考力、課題解決力、協調・協働力、コミュニケーション力といった社会人基礎力など、 行動・実践の基盤である生きていくための総合力(人間力)を涵養するためにインターンシップ等も取り入れた教養教育を実践する。	3		3	3	3	3	3	3.0		3							3.0	・授業科目である「国際フィールドワーク」においては、海外における地域事情を知ることを目的とし、中国でのフィールドワークを行う。現地学生との交流を行い、世界的視野で考え、足元から行動する能力やコミュニケーション力を養う。			
										4	3							3.0	・課題解決型の実習を「地域キャリア実習」という科目名で、2019年度も引き続き実施する。座学で学んだことを現場で実践する機会を与えることで学術力、社会人基礎力の養成に努める。			
3	様々な地域課題に対し、質の高い理論による専門教育と地域協働型の実践教育を通じ課題解決能力を養成し、協議調整や企画立案を行うことができる人材を育て、地域社会に還元する。	4		4	4	4	3	3	3.6		5	4						3.6	(D委員) 中期計画番号1と同じ（以下、省略） (E委員) よくやってきているとは思いますが、4年間の達成度が目標を上回るとまでは言えない。			
										6	3							3.0	・理論と応用の学びを踏まえた実践・実習による学びを強化し、学修アウトカムの達成度を見るためにルーブリックを作成する。ルーブリックは、学生の課題を確認し、その成長に資するものであり、webシステムの導入とも合わせて、1年生科目「地域経営演習Ⅰ、Ⅱ」で試行的に導入する。			
4	学生のリーダーシップやモチベーションを向上させる取り組みを進めるとともに、ワークショップ等のグループ学修を含め、共感性を養いながら学生自らが主体的に学修を進めるアクティブ・ラーニングを推進する。	4		4	4	3	3	3	3.4		7	4						3.6	・学生プロジェクトへの単位付与を実施する。2020年度より本格実施に向けて見直しを行う。単位認定の基準としては2単位に相当する時間数を確保することとした。（科目はグローバル特別講義である） (C委員) ポートフォリオの施行導入など2019年度の取り組みとしては一定評価できるが、利用状況（利用率）や効果測定などが行えていないなかで、評価を4とすることは適当でない。 (E委員) 4年間で計画通りに達成できたという評価である。			
										8	4							3.4	・ポートフォリオは、導入する学務システムの機能を用いて、2019年度前期中に詳細を決定するとともに、2年生から試行的に導入する。			
5	本学が育成する人材像に基づき、ディプロマ・ポリシーを明確に定め、教育の成果に関する目標に基づく教育と評価により、学生及び社会に対して教育の質を保証する。	3		3	3	4	3	3	3.2		8	4						3.4	・授業評価アンケート結果に基づき、シラバス通りに授業が展開されているか検証するとともに、実態把握のために教員間の授業参観を実施する。 ・シラバスの作成においては、以下の記入を徹底する。 予習、復習の内容と注意事項 試験・レポート等に対するフィードバックの方法 到達目標、成績評価の方法、基準 卒業認定、学位授与方法との関係 ・成績評価の分布状況について、2019年度より教員間で公表する。教員間・科目間で偏りがないうよう、成績評価の割合などについて検討する。			
																		3.4	(B委員) 年度計画どおりの実績に読み取れる (D委員) 昨年までの基準では3が妥当と考えます。 (E委員) 年度計画通りの実施と評価できる。			

令和元年度及び中期目標評価（4年終了時）に係る公立大学法人福知山公立大学業務実績報告書に係る評価結果一覧表

中期計画番号	中期計画	法人自己評価	評価委員会による評価結果（中期計画）							備考	年度計画番号	年度計画	法人自己評価	評価委員会による評価結果（年度計画）							備考
			評価結果（案）	A	B	C	D	E	平均値（参考）					評価のポイント・委員会確認事項	評価結果（案）	A	B	C	D	E	
6	ディプロマ・ポリシーを踏まえた明確なカリキュラム・ポリシーを策定する。併せて、各授業の到達目標、授業計画、成績評価の方法と基準等を明示したシラバスの充実を図る。	3		3	3	3	3	3	3.0		9	3		3	3	3	3	3	3.0		
7	教育に関する自己点検・評価を行うとともに、外部評価を定期的に受審する。また、組織的なファカルティ・ディベロップメント（FD）に関する研修、他大学教員との交流等を実施し、その成果を教育内容や教育手法の改善に活用する。併せて、学生の授業評価を定期的実施し、教育活動の改善に反映する。	3		3	3	3	3	3	3.0		10	3		3	3	4	3	3	3.2	(C委員) 年度計画では詳細な取り組みが記載されており、それを実直に取り組んだことが把握される。全教員が参加する授業参観など、FDへの取り組みは定着していると思われるため、4が適当である。	
8	自己点検・評価の実施及び外部評価の受審に向けた内部質保証への取り組みを推進する。	4		4	4	4	3	4	3.8		11	4		4	4	4	3	4	3.8	(D委員) 昨年までの基準では3が妥当と考えます。	
9	ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを踏まえて明確なアドミッション・ポリシーを定め、公開する。	4		4	4	3	3	4	3.6	(C委員) 3ポリシーの策定にも関係者の努力の跡がみられる。ただ、アドミッションポリシーについて、学部ごとには定められているが、選考種別ごとのポリシー策定がされておらず不十分だと思われる。	-										

令和元年度及び中期目標評価（4年終了時）に係る公立大学法人福知山公立大学業務実績報告書に係る評価結果一覧表

中期計画番号	中期計画	法人自己評価	評価委員会による評価結果（中期計画）							備考	年度計画番号	年度計画	法人自己評価	評価委員会による評価結果（年度計画）								
			評価結果（案）	A	B	C	D	E	平均値（参考）					評価のポイント・委員会確認事項	評価結果（案）	A	B	C	D	E	平均値（参考）	評価のポイント・委員会確認事項
10	優秀で多様な人材を確保するため、入学後の追跡調査結果を踏まえ、地域に根ざした公立大学として、地域枠を含む入学選抜方法を策定する。	4	4	3	4	3	4	3	4	3.6	<p>(B委員) 2019年度は、募集手段とその効果を分析したり、三たん地域からの入学者を増やすための施策を工夫されているが、4年間の実績と、地域に根ざした公立大学として存在するひとつの意義として三たん地域の入学者数の結果が安定的に推移している状況ではないことから。</p> <p>(C委員) 2020年度入試における、情報学部の志願倍率及び実質競争率の低さは懸念される。ただ、中期計画が「、、地域枠を含む入学選抜方法を策定する」となっているため、その達成度を見て4とした。※入試結果自体を4と評価はできない。</p>	12	・内閣府地方創生推進事務局、京都府、福知山市の後援を得て、地域活性化コンテスト「田舎力甲子園」を実施しているが、この「田舎力甲子園」と学生募集状況との関係を分析し、学生募集広報の一つの手段として、その意義を再検討する。	3	3	3	3	3	4	3.2	(E委員) 田舎力甲子園の仕組みをうまく使って、マーケティング分析も行っており評価できる。	
												13	・全体として志願者 850 名を目指す中で、推薦入試（地域枠）の活用を促し、三たん地域内に在籍する地元学生の志願者確保に努める。特に本学の教学内容、地域への取り組みを理解してもらうこと、高校教員との関係を強化することを目的に以下のように対策する。 (1) 大学窓口の一本化 京都府北部と兵庫県北部の高校からの窓口として、それぞれに専任職員を配置する。 (2) 地元の高校への出張講義や大学説明、本学見学等への対応 教員による出張講義や大学説明、本学見学への対応等により、本学の教学内容や本学の学修環境の周知に努める。三たん域内で1年間にのべ25回程度の出張講義や大学説明会へ対応を目標とする。 (3) きめ細かい高校訪問 窓口となる専任職員が京都府北部と兵庫県北部の高校を高校の状況と時期に応じて訪問活動を充実させる。その他の地区に関しても特に志願実績の多い府県については、各職員が年度当初より訪問を担当し高校教員との関係強化を図る。 (4) 地域の高校訪問 退職された高校教員等の協力を得る。	4	4	4	4	4	4	4.0		
												14	・入学者の成績分布と入試区分との関係を分析し、現行の入学者選抜方法を点検する。	3	3	3	3	3	3	3.0		
												15	・新学部入試について、設置申請の後、学生募集要項を作成する。 新学部設置に伴って入試区分ごとの募集人員を変更し、入学者選抜要項および募集要項を作成する。特に推薦入試については、地元学生の志願者確保に努めるとともに、適切な志願倍率が確保できるよう検討する。 教務部の結果を受けて文言を調整する。	3	3	3	3	3	3	3.0		
11	高大接続システムの動向及び学力の3要素、3ポリシーを踏まえた入試制度を検討する（平成29年度～）。	3	3	3	3	3	3	3.0		16	・「学力の三要素」を軸とした高大接続改革の中で、大学入学共通テストに基づいた2020年度入学試験の入学者選抜要項を作成する。	3	3	2	3	3	3	2.8	(B委員) 2020年度入学試験の入学者選抜要項を作成する計画に対し、要綱が2019年度には作成できていないように読み取れる			
12	高校や受験生の動向を把握し、出前講義を導入する等学生募集活動の改善に努める。	4	4	4	3	3	3	3	3.4	<p>(C委員) 限られた人員と予算のなかで、関係者が努力していることは理解できる。ただ、三たん地域をはじめとする地元からの志願者数については不安を感じざるを得ない。初年度の情報学部の志願状況についても満足とは言えない。</p>	17	・地元三たん地域をはじめ、志願実績の高いエリア（近畿、東海、北陸、中国）や、国公立大学で地域系の学部を設置するエリア（山陰、四国）に対して、職員を中心とした高校訪問活動（目標は延べ900校）ならびに受験媒体等を活用しながら、特に高校教員への訴求を中心としたより計画的な高校訪問を展開し、志願者 850 名を目指す。高校訪問においては本学の特徴のアピールをはじめ、教員紹介冊子を活用した研究内容の紹介から出張講義の獲得を目指す。	3	3	3	3	3	3	3.0			
											18	・志願時アンケート、入学後の新入生アンケートを実施し、受験生の動向を把握する。 ・社会貢献や地域貢献を兼ねた出張講義（15回）を実施する。 ・1年生を中心とした在学生（30人程度）が夏休み期間に出身校を訪問し、高校教員に学生生活や学習状況を伝える。併せて、高校教員に本学への印象についてアンケート調査を行う。	4	4	4	4	4	4	4.0			
											19	・出願者の利便性の向上および事務作業の効率化のために、Web出願システムを導入し、全面的に運用する。	3	3	3	3	3	3	3.0			

令和元年度及び中期目標評価（4年終了時）に係る公立大学法人福知山公立大学業務実績報告書に係る評価結果一覧表

中期計画番号	中期計画	法人自己評価	評価委員会による評価結果（中期計画）							備考	年度計画番号	年度計画	法人自己評価	評価委員会による評価結果（年度計画）							備考
			評価結果（案）	A	B	C	D	E	平均値（参考）					評価のポイント・委員会確認事項	評価結果（案）	A	B	C	D	E	
13	自己点検・評価や、教育研究審議会及び経営審議会等での意見を踏まえ、学部・学科の再編や大学院の設置等について将来構想を策定し、その実現を目指す。	5	5	5	5	4	5	4.8		20	・2018年2月に福知山市が策定した「知の拠点」整備構想に基づき、福知山市、他大学と連携して推進する。 また、2020年4月に設置を予定している情報学部（仮称）の許認可について、確実に取り組むとともに、認可後は、設置計画の円滑な遂行に努め、同整備構想の実現に向けた取り組みと検討を進める。併せて、既存学部のカリキュラムを改革し、分野の充実と見直しを行い、学修成果の向上を図る。	5	5	4	5	4	5	4.6			
14	学生の心身の健康増進と安心・安全な学生生活への支援の充実を図る。	3	3	3	3	3	3	3.0		21	・学生の課外活動に対する支援、奨学金等の経済支援、および生活環境や健康管理等に関する相談、支援を実施する。また、学生からの意見・要望等を直接的に汲み上げる仕組みを、学生の代表たる学友会との会合にて検討する。	3	3	3	3	3	3.0				
										22	・教職員間で学生情報の共有を図るため、学籍管理や学生支援関連業務と教務関連業務等が連動可能な教務系システムを導入する。	3	3	3	3	3	3.0				
										23	・臨床心理士によるカウンセリングルームの開室を継続する。カウンセリングルームは原則授業のある月に2回開室するが、開室の曜日に可変性を持たせ、必要に応じてカウンセリングを実施するなど柔軟に対応できるようにする。学生便覧に「障がい学生への支援について」の項目を設け、支援が必要な学生の相談窓口を明確にする。 またLGBT等、目に見えない悩みを抱えた学生への対応については、可能な範囲内で情報を収集し、学生委員会で適宜対応を検討する。	3	3	3	3	3	3.0				
										24	・福知山市や不動産業者と連携して市内の学生用アパート・マンションを把握し、ホームページでの学生への情報提供などを継続して行う。	4	4	4	4	4	4.0	(A委員) 学生生活の上で食・住は大切であり毎年100名の新規増加がしばらく予想されます。市との連携を十分に図っていただきたい。			
										25	・2019年度より教学情報システムの運用を開始し、サークル活動への関わりや奨学金の状況を把握し、成績の情報も含めて情報を共有し、退学・休学の予防などの修学支援を強化する。	3	3	3	3	3	3.0				
										26	・2018年度「学生生活に関する調査」（アンケート）結果等と、食堂が独自に回収したアンケートを資料として、学生委員会、学生、および食堂業者と運営について、検討を行う体制を構築する。年3回程度会議を持ち継続的な改善に取り組む。	4	4	4	4	3	4	3.8			

令和元年度及び中期目標評価（4年終了時）に係る公立大学法人福知山公立大学業務実績報告書に係る評価結果一覧表

中期計画番号	中期計画	法人自己評価	評価委員会による評価結果（中期計画）						備考	年度計画番号	年度計画	法人自己評価	評価委員会による評価結果（年度計画）						備考
			評価結果（案）	A	B	C	D	E					平均値（参考）	評価のポイント・委員会確認事項	評価結果（案）	A	B	C	
15	専任の担当者によるキャリア形成及び就職活動支援を実施する。	4	4	4	4	3	3	3.6		27	4	4	4	3	4	3.8	(D委員) 昨年までの基準では3が妥当と考えます。		
										28	4	4		3	3	3.3	(D委員) 昨年までの基準では3が妥当と考えます。 (E委員) 年度計画の内容が詳しく具体的に書いてあるという印象で、計画を上回っているとは評価できない。		
										29	3	3	2	3	3	2.8	(B委員) 1、行政職等に就いた本学卒業生による就職講話を実施する 2、京都北部合同企業説明会の開催 以上2点の実績が確認できない		
										30	3	3	3	3	3	3.0			
16	外国人留学生の受け入れと生活支援、学生の留学支援、海外の大学・研究機関等との連携、協定の締結等に取組む。	3	3	3	3	3	3.0		31	4	4	4	4	3	4	3.8	(D委員) 昨年までの基準では3が妥当と考えます。		
評定平均値		3.6	#DIV/0!							評定平均値		3.5	#DIV/0!						
評価5		1	0							評価5		1	0						
評価4		8	0							評価4		12	0						
評価3		7	0							評価3		18	0						
評価2		0	0							評価2		0	0						
評価1		0	0							評価1		0	0						

令和元年度及び中期目標評価（4年終了時）に係る公立大学法人福知山公立大学業務実績報告書に係る評価結果一覧表

中期計画番号	中期計画	法人自己評価	評価委員会による評価結果（中期計画）						備考	年度計画番号	年度計画	法人自己評価	評価委員会による評価結果（年度計画）						備考			
			評価結果（案）	A	B	C	D	E					平均値（参考）	評価のポイント・委員会確認事項	評価結果（案）	A	B	C		D	E	平均値（参考）
第4 教育研究等の質の向上に関する目標																						
2 研究の質の向上に関する目標を達成するための措置																						
17	「地域協働型教育研究」を展開し、積極的に地域社会との関わりを持つ中で、世界的な視野を持ちながら、過疎化の進展、地域産業の衰退など地域の様々な課題の解決に資する地域経営研究の拠点大学を目指す。	3		3	3	3	3	3	3	3.0		32	・2017・2018年度の「地域経営学研究会」の活動と2018年度の「地域協働型教育研究」の活動を踏まえ、新たな研究会を立ち上げて地域協働型の研究成果と課題を纏める。同活動には、2019年度の「福知山公立大学研究活性化助成金」を活用する。また、2018年度の「地域協働型教育研究」の活動については、2018年度中に論文集を作成し、2019年度に報告会を開催する。 ・個人研究費とは別予算として教員1人当たり30千円を計上し、希望するデータベースを各教員で契約し、教員・研究活動の推進を図る。	4		4	4	4	3	3	3.6	(D委員) 昨年までの基準では3が妥当と考えます。 (E委員) 年度計画の内容が実績には具体的に詳しく記載されているが、実績が年度計画を大きく上回っているようには見えない。
												33	・北近畿地域連携会議と連携しつつ、北近畿の課題解決に資する「地域研究プロジェクト」を学内公募する。	3		3	3	3	3	3	3.0	
												34	・包括協定団体との戦略的連携の一環として、包括協定団体との地域協働型教育研究の新規事業を展開する。具体的には、京都府北部地域連携都市圏を構成する4市2町と連携し、講師を招いたセッション集会）を実施（年4回）する。	3		3	3	3	3	3	3.0	
18	統計資料をはじめ北近畿地域の様々な情報の収集、整備を図る。	3		3	3	3	3	3	3	3.0		35	・2017年度より継続して収集している5市2町を中心とした北近畿地域の統計資料等についてデータ化を進め、公開する。また、収集した統計資料等は、本学ホームページにおいて「北近畿地域統計資料等一覧」を掲載する。	3		3	3	3	3	3	3.0	
												36	・施設利用の目安として、①施設利用件数90件、②蔵書増4,000冊、③府県を超えた行政機関等の地域連携部門と協力した連携事業2件、④大学と地域住民等との共同プロジェクト等により創出された新商品・新製品等の開発1件を目指す。	4		4	4	4	4	4	4.0	
19	地域や組織、団体、業種間を越えた連携・協力を推進する。	4		4	4		3	3		3.5	(C委員) 2019年度自己評価が2となっているなかで、中期目標評価において4とされた理由が理解できないため、評価保留とした。	37	・北近畿地域連携会議において、参加企業等から会費を徴収することを総会に提案する。また、同研究会で研究プロジェクトを公募（目標2件）する。 2017年度に設定した研究テーマの成果は2018年度中に報告書として取り纏め、2019年度北近畿地域連携会議総会で報告する。 ・包括協定先との定期協議会については、開催回数を2回とし、教育・研究・社会貢献分野それぞれにおいて連携・協力を推進する。1回は担当者レベルを想定して実務的な協議を行う（前半）、1回は代表者を集めての意見集約の会議を実施する（後半）。	2		2	2	3	3	3	2.6	(A委員) 外部団体との連携は大学自体の在り方を左右すると思われるので積極的な協力・企画をお願いする。 (C委員) 新型コロナウイルス感染症に伴うイベント中止は不可抗力であり、その他の取り組み実践から見て、評価2とされたことは理解できない。 (E委員) 「2」の評価であるが、概ね年度計画の内容は満たしているのではないかと。
20	防災・危機管理に関する組織を検討し（平成30年度～）、設置を目指す。	3		3	3	3	3	3	3	3.0		38	・福知山市の顧問（危機管理アドバイザー）を招き、本学の防災・危機管理に関する組織を検討する。	3		3	3	3	3	3	3.0	
21	科学研究費補助金や科学技術振興機構等の補助金ほか、外部資金獲得を推進する。	3		3	3	3	3	3	3	3.0		39	・科学研究費助成事業の獲得に向けて、応募書類のピアレビュー制度など獲得に向けた支援策を検討し、実施する。専任教員においては、2020年度科学研究費助成事業への研究代表者としての応募率100%、採択率30%を目指す。	4		4	4	4	4	4	4.0	(A委員) 応募率は勿論のこと採択率が目標30%を概ね達成されている。評価いたしたい。
22	北近畿地域の自治体をはじめ、委託事業・共同事業の獲得を推進する。	3		3	3	3	3	3	3	3.0		40	・【再掲37】北近畿地域連携会議において、参加企業等から会費を徴収することを総会に提案する。北近畿地域連携会議の研究会で研究プロジェクトを公募（目標2件）する。公募したプロジェクトは、受託研究費等の外部資金の獲得を目指す。	3		3	4	3	3	3	3.2	(B委員) 年度計画以上の実績があることが読み取れるため

資料1

令和元年度及び中期目標評価（4年終了時）に係る公立大学法人福知山公立大学業務実績報告書に係る評価結果一覧表

中期計画番号	中期計画	法人自己評価	評価委員会による評価結果（中期計画）							備考	年度計画番号	年度計画	法人自己評価	評価委員会による評価結果（年度計画）								
			評価結果（案）	A	B	C	D	E	平均値（参考）					評価のポイント・委員会確認事項	評価結果（案）	A	B	C	D	E	平均値（参考）	評価のポイント・委員会確認事項
23	・毎年度における学内研究費の適切な配分と執行を行う。 ・研究に関する規程を整備する。	3		3	3	3	3	3	3.0		41	・学内研究費を配分したうえで、重点的な配分も行う。 また、「福知山公立大学研究活性化助成金」を活用し、地域協働型研究の成果と課題を纏める。	3		3	3	3	3	3	3.0		
	<b>評定平均値</b>	3.1	#DIV/0!								<b>評定平均値</b>	3.2	#DIV/0!									
	評価5	0	0								評価5	0	0									
	評価4	1	0								評価4	3	0									
	評価3	6	0								評価3	6	0									
	評価2	0	0								評価2	1	0									
	評価1	0	0								評価1	0	0									

令和元年度及び中期目標評価（4年終了時）に係る公立大学法人福知山公立大学業務実績報告書に係る評価結果一覧表

中期計画番号	中期計画	法人自己評価	評価委員会による評価結果（中期計画）						備考	年度計画番号	年度計画	法人自己評価	評価委員会による評価結果（年度計画）						備考				
			評価結果（案）	A	B	C	D	E					平均値（参考）	評価のポイント・委員会確認事項	評価結果（案）	A	B	C		D	E	平均値（参考）	評価のポイント・委員会確認事項
<p>第4 教育研究等の質の向上に関する目標</p> <p>3 地域協働（地域貢献）の質の向上に関する目標を達成するための措置</p>																							
24	地域社会を担う人材を育成するため、多世代並びに社会人向け公開講座の開催や生涯学習や専門分野教育を受講できる制度を構築するとともに、大学施設の利用を推進し、地域に開かれた大学づくりを進める。	4			4	4	4	3	4	3.8		42	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学が有する「知」と「ネットワーク」を市民等に還元するとともに、教職員、市民、地元企業・団体等とが交流することを目的に、以下の事業を推進する。</li> <li>公開講座等</li> <li>分野別講座（4回）</li> <li>第1回テーマ：都市経営（6月）</li> <li>第2回テーマ：医療（8月）</li> <li>第3回テーマ：企業経営（10月）</li> <li>第4回テーマ：農村（12月）</li> <li>井口学長塾（10回程度、6月～12月）</li> <li>子ども・若者学び支援（2回）</li> <li>天文教室（7月）</li> <li>夏休み自由研究教室（8月）</li> <li>社会人キャリア支援（2事業）</li> <li>協定先と連携した研修事業</li> <li>地域の中小企業と連携した研修事業</li> </ul>	3			3	4	3	3	3	3.2	(B委員) 年度計画以上の実績があることが読み取れるため
											43	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校法人関西文理学園と連携する京都社会人大学の講座内容の充実を図る。</li> <li>5～12月</li> <li>時事問題講座</li> <li>第1火曜日</li> <li>美術鑑賞講座</li> <li>第2月曜日</li> <li>歴史講座</li> <li>第2水曜日</li> <li>自然科学講座</li> <li>第3木曜日</li> <li>漢字学講座</li> <li>第4木曜日</li> <li>健康講座</li> <li>第4金曜日</li> </ul>	3			3	3	3	3	3	3.0		
											44	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北近畿地域連携センター所管の施設の利用を促進し、カフェスペースは年間延べ1200人、コワーキングスペース年間120件、Co-Lab. スペース年間80件、情報掲示ラック年間20件の利用を目指す。</li> <li>・北近畿地域連携会議の会員企業等を対象に会員特典（Co-Lab. スペース・コワーキングスペースなどの施設利用）を検討する。</li> </ul>	4			4	4	4	4	4	4.0		
25	持続可能な社会形成や地域課題解決のため、大学が有する知的資源等の有効活用を推進する。	4			4	4	3	3	3	3.4	(C委員) 2019年評価までの過去の自己評価がすべて3であったことから考えると、中期目標に関する評価を4とすることには無理がある。	45	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福知山公立大学の様々な地域連携の広報活動の強化として、大学からの発信に加えて、HP（都度更新）、facebook400フォロワーを目標に加え、ニュースレター（年4回）も作成し、積極的な情報発信に努める。</li> <li>・北近畿地域連携会議の会員向けに大学の教員や研究成果に関する情報の提供、大学教員の紹介と課題解決のための相談（5件を目標）や連携調整の体制を強化する。</li> </ul>	3			3	3	3	3	3	3.0	
26	地域連携・地域協働の拠点となる「北近畿地域連携センター」を設置する。	4			4	4	3	3	4	3.6	(C委員) 2019年評価までの過去の自己評価がすべて3であったことから考えると、中期目標に関する評価を4とすることには無理がある。	-	・2018（平成30）年度で対応済み。	-									
27	様々な機関や団体が有する知的資源、人的資源等の活用を推進する。	3			3	3	3	3	3	3.0		46	・連携研究員制度を活用し、連携研究員を迎え入れ、地域課題の解決策に関する共同研究を行う。	3			3	3	3	3	4	3.2	(E委員) 連携研究員制度を非常に有効的に活用したと評価できる。
28	北近畿地域の各自治体との連携強化を推進し、福知山公立大学がシンクタンクの役割を果たせるよう取り組む。	3			3	3	3	3	3	3.0		47	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2018年度に包括協定を締結した京都府、京都府北部地域4市（舞鶴市・綾部市・京丹後市・宮津市）2町（伊根町・与謝野町）及び朝来市・丹波市と連携し、教育研究事業を推進する。</li> <li>また、北近畿地域連携会議の会員からのプロジェクト提案を求め、そのプロジェクト提案を踏まえた研究プロジェクトを少なくとも2件立ち上げて地域課題の解決に貢献する。</li> <li>更に、昨年度に引き続き京都府の「大学ゼミ協働研究事業」を引き受け、京都府職員の政策形成能力の向上に寄与する。</li> </ul>	3			3	3	3	3	3	3.0	



令和元年度及び中期目標評価（4年終了時）に係る公立大学法人福知山公立大学業務実績報告書に係る評価結果一覧表

中期計画番号	中期計画	法人自己評価	評価委員会による評価結果（中期計画）						備考	年度計画番号	年度計画	法人自己評価	評価委員会による評価結果（年度計画）						備考
			評価結果（案）	A	B	C	D	E					平均値（参考）	評価のポイント・委員会確認事項	評価結果（案）	A	B	C	
29	福知山公立大学が北近畿地域の住民にとっての大学として身近に感じてもらえるよう、大学講義等をキャンパス内だけでなく、市内及び市外のまちかど施設等を活用して実施するなど、地域住民に「見える」大学づくりを推進する。	4	4	4	4	3	4	3.8		48	4	4	4	4	4	4.0			
										49								3	3
30	「北近畿地域連携センター」が窓口となり、地域連携と社会貢献活動を多角的に実施する。	4	4	4	3	3	4	3.6	(C委員) 業務の実績として記載された具体的な取り組みは、別の項目でも重複して記載されたものであり、中期目標の達成度として4とするだけの要素とは理解しがたい。	50	3	3	3	3	3	3.0			
31	インターンシップ受入先の拡充・開拓及び就職情報の収集に努めるとともに、キャリア教育を積極的に実施し、全学的な体制による就職活動の支援を行う。	3	3	3	3	3	3	3.0		51	3	3	3	3	3	3.0			
評定平均値		3.6	#DIV/0!							評定平均値		3.2	#DIV/0!						
評価5		0	0							評価5		0	0						
評価4		5	0							評価4		2	0						
評価3		3	0							評価3		8	0						
評価2		0	0							評価2		0	0						
評価1		0	0							評価1		0	0						

令和元年度及び中期目標評価（4年終了時）に係る公立大学法人福知山公立大学業務実績報告書に係る評価結果一覧表

中期計画番号	中期計画	法人自己評価	評価委員会による評価結果（中期計画）						備考	年度計画番号	年度計画	法人自己評価	評価委員会による評価結果（年度計画）						備考
			評価結果（案）	A	B	C	D	E					平均値（参考）	評価のポイント・委員会確認事項	評価結果（案）	A	B	C	
第5 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置																			
32	理事長（学長）を中心とし、教員、職員、学生がそれぞれの特性を活かし、協力して法人経営・大学運営に取り組む。	3																	<p>(D委員)</p> <p>計画通り運営会議を毎週開催された点では3となります。 しかし、新たに設置された経営会議について、内部質保証の体系図をみると、内部質保証の体系図をみると、職員の構成する経営会議があたかも経営事項(重要事項)を決定し、学長(理事長)がそれによって業務遂行し、理事長が業務遂行結果を理事会や経営審議会等へ報告をするかのようにしており、地方独立行政法人法、定款、経営会議規程から規範的・合理的に導かれる経営の仕組みに整合しないようなものになっているようです。これは地方独立行政法人法の規定に適合しないと思います。</p> <p>(E委員)</p> <p>経営会議は制度的には整ったが、稼働しているのか？稼働していなければ、評価としては3ではないか？</p>
33	理事長（学長）がリーダーシップを発揮するため、事務局の企画機能を強化して理事長（学長）を支える体制を整備する。	3																	<p>・事務局の各グループに企画担当者を配置し、事務局運営会議に参加する。同会議に参加することにより積極的に大学運営の向上を図るとともに、情報共有の仕組みを整備する。</p>
34	教職員の協働により機動的な学内運営を図る。	3																	<p>・法人経営・大学運営の重要な課題について、的確かつ機動的にプロジェクトチームやタスクフォースを立ち上げて対応する。</p>
35	福知山市議会や公立大学法人福知山公立大学評価委員会、市民、企業、各種団体等からの要望や意見を真摯に受け止め、法人経営・大学運営に反映する。	4																	<p>(A委員)</p> <p>今後も市民の公立大学に期待するものを始め十分に意見を吸い上げていただきたい。</p> <p>(E委員)</p> <p>非常によくやってきたとは評価できるが、当初から目標としてきたことを着実に実施してきたと評価できる。</p> <p>(D委員)</p> <p>昨年までの基準では3が妥当と考えます。</p> <p>(E委員)</p> <p>年度計画の内容を着実に実施したという実績内容である。</p>
36	法人経営・大学運営の全般、重要事項について外部理事及び外部委員と協議し情報を共有することにより、継続的な経営改善に取り組む。	3																	<p>・意見を聴取する機会として、公開講座、シンポジウム、アドバイザー・コミッティ、北近畿地域連携会議、地域研究プロジェクト研究成果報告会、活動報告会、高校訪問等がある。これらの機会を通し、アンケート又は意見交換、検証等を行い、法人経営・大学運営に反映する。</p>

令和元年度及び中期目標評価（4年終了時）に係る公立大学法人福知山公立大学業務実績報告書に係る評価結果一覧表

中期計画番号	中期計画	法人自己評価	評価委員会による評価結果（中期計画）							備考	年度計画番号	年度計画	法人自己評価	評価委員会による評価結果（年度計画）							備考
			評価結果（案）	A	B	C	D	E	平均値（参考）					評価のポイント・委員会確認事項	評価結果（案）	A	B	C	D	E	
37	授業内容・方法等の改善及び向上を目的として、ファカルティ・ディベロップメント（FD）を推進する。	3	3	3	3	3	3	3	3.0		57	3	3	4	3	3	3	3.2			
38	大学教職員として必要な基礎能力、学生支援能力、教育研究支援能力、法人経営・大学運営に係る能力の向上を目的として、スタッフ・ディベロップメント（SD）を推進する。	3	3	3	3	3	3	3	3.0		58	3	3	3	3	3	3	3.0			
39	教職員の職務遂行能力を高め、職務実績を適切に評価するため、教職員人事評価制度を導入する。	3	3	3	3	3	3	3	3.0		59	3	3	3	3	3	3	3.0			
40	教職員人事評価制度の活用により、個人の資質向上を図るとともに、活力に満ちた組織を維持する。	3	3	3	3	3	3	3	3.0		60	3	3	3	3	3	3	3.0			
41	教育・研究や地域貢献の成果、実績やイベント情報を大学ホームページ等に積極的に公開する。	4	4	4	3	3	4	3.6	(C委員) 様々な取り組みを実践したことは理解できるが、その効果（SNSの閲覧・フォロワー数の伸びなど）が明示されておらず、4の評価はつけ難い。		61	4	3	4	4	3	4	3.6	(A委員) ニュースレターについては年度計画発刊が叶わなかったため。 (D委員) 昨年までの基準では3が妥当と考えます。		
42	自治体や企業、各種団体、市民等と積極的に意見交換し、ニーズを的確に把握する。	3	3	3	3	3	3	3.0			62	3	3	2	3	3	3	2.8			

令和元年度及び中期目標評価（4年終了時）に係る公立大学法人福知山公立大学業務実績報告書に係る評価結果一覧表

中期計画番号	中期計画	法人自己評価	評価委員会による評価結果（中期計画）							備考	年度計画番号	年度計画	法人自己評価	評価委員会による評価結果（年度計画）							備考
			評価結果（案）	A	B	C	D	E	平均値（参考）					評価のポイント・委員会確認事項	評価結果（案）	A	B	C	D	E	
43	外部理事、外部委員、監事の意見等を法人経営、大学運営に反映する。	3	3	3	3	3	3	3	3.0		63	・【再掲56】 理事会、経営審議会、教育研究審議会において、外部理事、外部委員、監事の意見等を運営会議での検討を通して理事長の主導の下で法人経営、大学運営に反映する。 併せて、アドバイザリー・コミッティでの意見についても、積極的に取り入れる。	3	3	3	3	3	3.0			
44	市民向け報告会を開催する。	3	3	3	3	3	3	3.0		64	・活動報告会、地域協働型実践教育成果報告会、地域研究プロジェクト、実践教育研究会の報告会又は発表会を開催する。	4	4	4	3	3	3.6	(D委員) 昨年までの基準では3が妥当と考えます。			
45	高校関係者、在学生保護者をはじめとするステークホルダーから積極的に意見を聴取し、法人経営、大学運営の参考にする。	3	3	3	3	3	3	3.0		65	・ステークホルダーからの情報収集、整理、共有を図る。とりわけ高校教員からヒアリングや高校教員向入試説明会（本学会場）の終了後に実施予定の高等学校教員との意見交換会（6月予定）において進路や受験の情報を積極的に収集する。	3	3	3	3	3	3.0				
										66	・教育後援会会員（在学生の保護者）へのアンケートを通して保護者の意識や大学への希望を確認する。	3	3	3	3	3	3.0	(A委員) 今後の就職先企業の評価また受験生の増加を図る上で資格取得支援への特色を持たせることは重要と考える。 (D委員) 昨年までの基準では3が妥当と考えます。			
46	職員の能力、適性を的確に把握し、人材の有効活用を図る。	3	3	3	3	3	3	3.0		67	・【再掲59】 人事評価制度について、事務職員については、実施する。 教育職員については、試行する。	3	3	3	3	3	3.0				
47	大学運営の優先順位を見極めて予算を配分し、効果的、効率的に執行する。	3	3	3	3	3	3	3.0		68	・計画的な予算執行を実施するために、財務会計システムにおいてリアルタイムで予算の執行状況を確認できる機能を追加し、2020年度からの運用開始に向け検討と準備を進める。	3	3	3	3	3	3.0				
48	自己点検・評価を定期的実施し、大学運営の維持・向上を図る。	3	3	3	3	3	3	3.0		69	・自己点検評価委員会にて認証評価の課題項目及び2018年度評価委員会の課題項目が2019年度の執行見込又は2020年度の年度計画で改善ができていないか確認する。確認後に取り組み状態が不十分な場合は、各委員会、事務局に助言を行う。 認証評価の課題項目は9月末までに改善状況を把握する。 2018年度の評価委員会の評価については、次のとおり対応する。 各部署の評価対応案確認（10月迄） 課題が年度計画又は業務実績に反映できているかの確認（2月迄）	4	4	4	3	4	3.8				
49	教職員の定員規模については、学生数の増加や教育内容の変化に対応し、適宜見直す。	4	3	3	3	3	3	3.0	(A委員) 法人全体でのバランスの取れた人員配置とストレスのない体制の構築を進めていただく点（事務職員数の不十分さの改善） (B委員) 中期計画が順調に推移していると感じられ、計画以上の実績が読み取れないので。 (C委員) 従前から事務職員については配置が不十分であると法人側でも認識されていたと思う。2019年度も不十分という自己評価のなかで、中間時点で4の評価はつけ難い。 (E委員) よくやってきたとは評価できるが、計画を上回ってできたとは評価できない。	70	・「知の拠点」整備構想の具体化に向けて、学生数増に応じた、財政シミュレーションを基礎とした計画的な教職員数を配置する。 また、新学部の設置を見据えた適正な教職員体制の確保及び施設・設備を整備する。	3	2	3	3	3	3	2.8	(A委員) 法人全体でのバランスの取れた人員配置とストレスのない体制の構築を進めていただきたい（事務職員数の不十分さの改善）。 (C委員) 事務職員について、「適正規模の獲得が不十分」との記載があるが、その理由を明確にしてほしい。		

資料1

令和元年度及び中期目標評価（4年終了時）に係る公立大学法人福知山公立大学業務実績報告書に係る評価結果一覧表

中期計画番号	中期計画	法人自己評価	評価委員会による評価結果（中期計画）							備考	年度計画番号	年度計画	法人自己評価	評価委員会による評価結果（年度計画）								
			評価結果（案）	A	B	C	D	E	平均値（参考）					評価のポイント・委員会確認事項	評価結果（案）	A	B	C	D	E	平均値（参考）	評価のポイント・委員会確認事項
50	多様で柔軟な人事制度により効率的な運営を図る。	3		3	3	3	3	3	3.0		71	・他大学の事例を収集し、本学の教育研究に適した人事制度を検討する。	3		3	3	3	3	3	3.0		
	評定平均値	3.2	#DIV/0!									評定平均値	3.3	#DIV/0!								
	評価5	0	0									評価5	0	0								
	評価4	3	0									評価4	5	0								
	評価3	16	0									評価3	15	0								
	評価2	0	0									評価2	0	0								
	評価1	0	0									評価1	0	0								

令和元年度及び中期目標評価（4年終了時）に係る公立大学法人福知山公立大学業務実績報告書に係る評価結果一覧表

中期計画番号	中期計画	法人自己評価	評価委員会による評価結果（中期計画）						備考	年度計画番号	年度計画	法人自己評価	評価委員会による評価結果（年度計画）						備考	
			評価結果（案）	A	B	C	D	E					平均値（参考）	評価のポイント・委員会確認事項	評価結果（案）	A	B	C		D
第6 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置																				
51	志願者数の増加及び入学定員数の確保に取り組むとともに、定員増や学部再編などの速やかな実現を図る。	4	4	4	4	3	4	3.8	(A委員) 多くの課題のある中、着実に計画に沿って実行されている。安定的な運営に心がけられている。		72	・新学部設置に向けた建物の改修工事を完了する。また、新学部の教員を2名採用し、新学部設置に備える。	4	4	3	4	3	4	3.6	(B委員) 計画通りの実績であるので3であるのではないかと考えた (D委員) 昨年までの基準では3が妥当と考えます。
											73	・情報学部の、認可申請に基づき教職員の確保を行うとともに、施設・設備の整備を進める。	4	4	3	4	3	4	3.6	(B委員) 計画通りの実績であるので3であるのではないかと考えた (D委員) 昨年までの基準では3が妥当と考えます。
52	大学運営の優先順位を見極めて予算を配分し、効果的、効率的に執行する。（再掲）	3	3	3	3	3	3	3.0			74	・【再掲68】 計画的な予算執行を実施するために、財務会計システムにおいてリアルタイムで予算の執行状況を確認できる機能を追加し、2020年度からの運用開始に向け検討と準備を進める。	3	3	3	3	3	3.0		
53	教職員の職務遂行能力を高め、職務実績を適切に評価するため教職員人事評価制度を導入する。（再掲）	3	3	3	3	3	3	3.0			75	・【再掲59】【再掲67】 人事評価制度について、事務職員については、実施する。 教育職員については、試行する	3	3	3	3	3	3.0		
											76	・【再掲60】 職員人事評価の運用に伴い、職員の資質向上を図る。	3	3	3	3	3	3.0		
54	教職員人事評価制度の活用により、個人の資質向上を図るとともに活力に満ちた組織を維持する。（再掲）	3	3	3	3	3	3	3.0			-	-	-							
55	志願者データを毎年度分析し、各種受験媒体、ホームページ等を効果的に活用した広報活動を行うとともに、高校訪問、出前講義、オープンキャンパス等を積極的に実施する。	3	3	3	3	3	3	3.0			77	・志願者データを分析し、対象となる高校の状況や地域性などを次年度の学生募集活動に反映する。	3	3	3	3	3	3.0		
56	授業料等学生納付金は、公立大学が地域における高等教育の機会均等に果たす役割等を踏まえつつ適正な額を決定する。	3	3	3	3	3	3	3.0			78	・他の国公立大学の学生納付金の情報を注視し、妥当性を検証する。新学部の設置に伴い、広報や学生募集活動を充実強化し、入学定員に対する4倍以上の志願者の確保及び入学定員の充足に努める。	3	3	3	3	3	3.0		
57	大学施設利用料金を適切に設定し、施設の有効活用を図る。	3	3	3	3	3	3	3.0			79	・利用状況を確認する。また、積極的に施設利用に係る広報を行い、学外者による施設利用を図る。	3	3	3	3	3	3.0		

令和元年度及び中期目標評価（4年終了時）に係る公立大学法人福知山公立大学業務実績報告書に係る評価結果一覧表

中期計画番号	中期計画	法人自己評価	評価委員会による評価結果（中期計画）							備考	年度計画番号	年度計画	法人自己評価	評価委員会による評価結果（年度計画）							備考
			評価結果（案）	A	B	C	D	E	平均値（参考）					評価のポイント・委員会確認事項	評価結果（案）	A	B	C	D	E	
58	国、地方公共団体、企業ほか各種団体の外部資金の獲得を積極的に推進する。	4	4	4	4	3	4	3.8		80	・科学研究費助成事業の獲得に向けて、応募書類のピアレビュー制度など獲得に向けた支援策を検討し、実施する。専任教員においては、2018年度科学研究費助成事業への研究代表者としての応募率100%、採択率30%を目指す。 寄付金（ふるさと納税、古本募金、直接寄付等）、補助金、受託研究等の獲得を目指す。	4	4	4	4	3	4	3.8	(A委員) 外部資金への取組みの成果が表れているものとする。全学一体となつての取組みに期待する。 (D委員) 昨年までの基準では3が妥当と考えます。 (E委員) 受託事業等の記載がない。		
59	外部資金の獲得に関する情報を整理し、教員に有用な情報を提供する。	3	3	3	3	3	3	3.0		81	・様々な外部資金に関する情報を定期的に収集、整理し、教員に提供する。 また、外部研修への参加、過去に採択された教員や審査員経験者による説明会など科研費獲得に向けた取り組みを実施する。	3	3	3	3	3	3	3.0			
60	定員増を行い、定員を充足する。	5	5	4	5	3	5	4.4	(B委員) 自己財源の確保における定員増を図ったこと的位置づけとしては十分な実施状況であると思うが、中期計画を大幅に上回っていると判断すべき点について、読み取ることができなかった	82	・設置予定の情報学部について、8月には認可されるよう補正申請書等に迅速かつ確に対応する。 2020年4月には、城経営学部100名、情報学部入学定員100名、計200名とする。	5	5	4	5	4	5	4.6	(A委員) 新学部の設置認可が2019年11月にずれ込んだが、より魅力のある大学に努力されたい。 (B委員) 年度計画を十分に実施している状況であり、年度計画を大きく上回っている要素が読み取れなかった		
61	大学運営の優先順位を見極めて予算を配分し、効果的、効率的に執行する。（再掲）	3	3	3	3	3	3	3.0		83	・【再掲68】【再掲74】 計画的な予算執行を実施するために、財務会計システムにおいてリアルタイムで予算の執行状況を確認できる機能を追加し、2020年度からの運用開始に向け検討と準備を進める。	3	3	3	3	3	3	3.0			
62	業務内容等を把握、分析し、改善策を検討、実施する。	3	3	3	3	3	3	3.0		84	・過去2年間の発注状況からもっとも発注量の多いコピー用紙に着目し、単価契約による物品調達を行うことで、経費削減に努める。 教授会、委員会、事務局会議等各種会議でプロジェクトを活用し、ペーパーレス化を図る。	3	3	3	3	3	3	3.0			
評定平均値		3.3	#DIV/0!								評定平均値		3.4	#DIV/0!							
評価5		1	0								評価5		1	0							
評価4		2	0								評価4		3	0							
評価3		9	0								評価3		9	0							
評価2		0	0								評価2		0	0							
評価1		0	0								評価1		0	0							

資料1

令和元年度及び中期目標評価（4年終了時）に係る公立大学法人福知山公立大学業務実績報告書に係る評価結果一覧表

中期計画番号	中期計画	法人自己評価	評価委員会による評価結果（中期計画）						備考	年度計画番号	年度計画	法人自己評価	評価委員会による評価結果（年度計画）						備考		
			評価結果（案）	A	B	C	D	E					平均値（参考）	評価のポイント・委員会確認事項	評価結果（案）	A	B	C		D	E
第7 自己点検・評価及び情報公開に関する目標を達成するための措置																					
63	中期計画及び年度計画を作成し計画的に業務運営を行い、毎事業年度終了後は、年度計画に定めた項目ごとにその実績を明らかにし、公立大学法人福知山公立大学評価委員会の評価を受ける。	3							3.0		85	・年度計画の進捗状況を定期的に確認し、毎事業年度終了後は、年度計画に定めた項目ごとにその実績を明らかにし、公立大学法人福知山公立大学評価委員会の評価を受ける。 第1期中期目標計画期間（2016年度～2021年度）の前々事業年度の見込に関する評価（2019年度業務実績時）、第1期中期目標計画期間最終年度の評価、及び第2期中期目標（2022年度～2027年度）作成の準備を行う。	3							3.0	
64	公立大学法人福知山公立大学評価委員会の評価結果を踏まえて業務運営や教育研究活動等の向上を図る。	3							3.0		86	・2018年度の業務実績について、公立大学法人福知山公立大学評価委員会の評価を受け、評価結果を踏まえて業務運営や教育研究活動等の向上を図る。	4							3.8	(D委員) 昨年までの基準では3が妥当と考えます。
65	平成29年度に認証評価機関による評価（第三者評価）を受け、その結果を大学運営に反映する。	5							4.4	(C委員) 中期計画は、「認証評価結果を大学運営に反映する」となっている。受審したことだけでは達成したとはならない。短時間で関係者が努力したことは理解しているが、結果をどのように大学運営に反映されたのか、具体的な記載がない中で5は付けられない。	-	・2017（平成29）年度に受審済み。	-								
66	自己点検・評価を定期的実施し、大学として教育研究水準の向上を図る。	3							3.0		87	・認証評価の結果の努力課題、改善勧告だけでなく本文中の指摘についても改善に取り組む。3つの努力課題と1つの改善勧告について改善状況を根拠資料とともに8月末迄に確認する。	3							3.0	(A委員) 努力課題ではあるが体育館が無いという現状を考え福知山市とも協議を強力に進めていただきたい。
67	内部質保証システムを構築し、適切な運用を行う。	4							3.8		88	・【再掲11】自己点検評価委員会で毎年度の自己点検評価の方法等を検討する。大学基準協会等の点検・評価項目、評価の視点、根拠資料を参考に本学としての点検・評価のシステムを検討する。2020年度の年度計画、予算作成時（8月）に合わせて簡易な自己点検評価を実施することを目指す。	4							3.8	(D委員) 昨年までの基準では3が妥当と考えます。
68	認証評価とは別に、平成32年度を目途に外部有識者等による大学評価の実施を目指す。	3							3.0		89	・2020年度の外部有識者等による大学評価の実施に向けて、研修会等に参加し、資料を収集する。具体的には、大学評価ワークショップ等の参加等を検討する。 また、2016年度に地方独立行政法人法が改正となり、第1期中期目標計画期間（2016年度～2021年度）の前々事業年度の見込に関する評価（2019年度業務実績時）を2020年度に実施することから、職員の業務負担を考慮し、決定する。	3							3.0	
69	中期計画、年度計画、財務諸表、自己点検による評価結果、認証評価機関による評価結果等の法令上公表が求められている事項はもとより、教育研究活動や地域貢献活動、社会貢献活動等についてホームページ等を通じて積極的に公表する。	3							3.0		90	・年度計画、事業報告書、財務諸表、業務実績評価結果については作成後、遅滞なくホームページ等を通じて公表する。教育研究活動・地域貢献活動・社会貢献活動等については、HPやSNS、広報誌を通じて積極的に情報を発信する。	3							3.0	
70	大学の基本理念、特色等を踏まえた広報活動を行う。	4							3.4	(C委員) 広報活動は効果測定と伴って評価されるべき項目であり、法人の分析（記載）内容だけで4の評価は難しい。	91	・大学の基本理念、キャッチコピー（「京都の新しい公立大学」「地域を変える、日本が変わる、世界は変わる」）を広報物に積極的に活用する。情報学部（仮称）設置に関する情報はホームページ等で随時発信するとともに、リーフレットの制作や広告掲載等により積極的に行う。	4							3.8	(D委員) 昨年までの基準では3が妥当と考えます。



令和元年度及び中期目標評価（4年終了時）に係る公立大学法人福知山公立大学業務実績報告書に係る評価結果一覧表

中期計画番号	中期計画	法人自己評価	評価委員会による評価結果（中期計画）							備考	年度計画番号	年度計画	法人自己評価	評価委員会による評価結果（年度計画）							
			評価結果（案）	A	B	C	D	E	平均値（参考）					評価のポイント・委員会確認事項	評価結果（案）	A	B	C	D	E	平均値（参考）
71	広報委員会と入試委員会を別に設け、広報委員会は主に大学の知名度及びイメージの向上に関して、入試委員会は主に学生の確保に関して活動を行うことで広報体制を強化する。	3		3	3	3	3	3	3.0		92	・広報委員会では拡散性のあるSNSを積極的に活用して知名度の向上を図るとともに、地域貢献に資する様々な教育研究活動の情報を発信する。入試委員会では受験生並びに受験生の指導に大きな影響を持つ高校教員向けの受験媒体を活用した効果的な活動を展開する。	3		3	3	3	3	3	3.0	
72	目的及び効果を考慮し、計画性を持ってマスメディア等への情報提供やホームページの活用等を行うことで効果的な広報活動を行う。	3	3	3	3	3	3	3.0		93	・データの調査・分析等を行い、高校生や地域住民等の対象ごとの目的及び効果を考慮し、計画的な広報活動を実施する。	3		3	3	3	3	3	3.0		
										94	・マスメディア等への情報提供を40回以上行い、ホームページ等を通じた時機を逸さない広報活動に努める。	3		3	3	3	3	3.0			
										95	・内閣府地方創生推進事務局、京都府、福知山市の後援を得て、地域活性化コンテスト「田舎力甲子園」を引き続き実施する。	3		3	3	3	3	3.0			
評定平均値		3.4	#DIV/0!								評定平均値		3.3	#DIV/0!							
評価5		1	0								評価5		0	0							
評価4		2	0								評価4		3	0							
評価3		7	0								評価3		8	0							
評価2		0	0								評価2		0	0							
評価1		0	0								評価1		0	0							

令和元年度及び中期目標評価（4年終了時）に係る公立大学法人福知山公立大学業務実績報告書に係る評価結果一覧表

中期計画番号	中期計画	法人自己評価	評価委員会による評価結果（中期計画）						備考	年度計画番号	年度計画	法人自己評価	評価委員会による評価結果（年度計画）						備考			
			評価結果（案）	A	B	C	D	E					平均値（参考）	評価のポイント・委員会確認事項	評価結果（案）	A	B	C		D	E	平均値（参考）
第8 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置																						
73	社会的信頼の維持及び業務を適法・適正に推進するため、コンプライアンスに関する規程及び体制を整備するとともに、社会動向に合わせて見直す。また、コンプライアンスに関わる啓発と研修を実施する。	3		3	3	3	3	3	3	3.0		96	・内部監査を実施し、業務執行の適正化と効率化を図る。 内部監査項目としては、外部資金等（科学研究費等を含む）の適正な執行、前年度の監査法人の指摘事項の改善状況等を確認する。	3		3	3	3	3	3	3.0	
												97	・外部講師による教職員対象のハラスメント研修を1回行う。 ハラスメント相談フロー図を策定、ハラスメント防止の掲示を行い、学内で周知する。 学年当初のガイダンスにて学生にハラスメント防止、相談窓口について説明をおこなう。 ・研究費不正使用及び研究活動の不正防止に関する研修を実施する。 ・教員、学生が行う研究・調査について、倫理的及び社会的観点から適正に実施されることを目的に、ヒトを対象とする研究倫理審査会の定例開催を目標とする。 ・必要な規程の改正等、整備を行う。	3		3	3	3	3	3	3.0	
74	施設設備の整備・管理に関する目標と計画を策定し、実施する。	3		3	3	3	3	3	3	3.0		98	・情報学部新設のため、1号館、3号館の改修工事を実施する。また2020年度の長寿命化計画（個別施設計画）の作成に向けた検討・準備を行う。	3		3	3	3	3	3	3.0	
75	学生の安全対策等を含む危機管理体制を整備する。	3		3	3	3	3	3	3	3.0		99	・1回生を対象とした避難訓練を実施し、大学にて災害が起こった際の避難経路の確認のための訓練を実施するとともに、全学年を対象とした防災行動に対する講習を1回行う。 また、学生教職員対象の安否確認システムを稼働し、登録数を90%以上とする。 また、同システムを利用した訓練を実施し、有事の際の応答率が70%以上となるよう周知を図る。	3		3	3	3	3	3	3.0	
76	職場の健康管理、安全管理を推進し、快適な職場環境を目指す。	4		4	4	4	3	3	3.6	(E委員) 各年、必要な整備を着実に進めてきたという評価ではないか。		100	・教職員の心身の健康状況を把握するため、健康診断、ストレスチェックを実施し、受診率100%を目指す。 ・衛生管理者による職場巡回を（月4回程度）実施し、必要に応じて改善する。 ・事務局を通して教職員の時間外勤務状況を把握し、月40時間を超える対象者について、管理職に面談を行うように促し、産業医に状況を報告するとともに、心身の不調等についての産業医に相談できることも周知する。 産業医と連携をとり教職員の健康管理を行い、ワークライフバランスの保持に努める。 また、有給休暇の取得を促進するため、有給取得週間を実施するなどの取り組みを進める。	4		4	4	4	3	3	3.6	(D委員) 昨年までの基準では3が妥当と考えます。 (E委員) 年度計画を大きく上回って実施されたとは評価できない。
77	情報関連規程を整備し、情報を安全かつ適切に取り扱う。	3		3	3	3	3	3	3.0			101	・セキュリティポリシーに準じた情報システム運用規則を整備し、情報システムの円滑かつ安全な運用を図るため、ガイドラインを作成する。 学内ネットワーク環境の強化を図るとともに、情報セキュリティに関する研修を実施し、安心安全な環境を整備する。	3		3	3	3	2	3	2.8	(D委員) 報告を見る限り、情報システムの運用ガイドラインが作成されておらず、学内ネットワーク環境の強化が図られていないので、2が妥当と考えます。

資料1

令和元年度及び中期目標評価（4年終了時）に係る公立大学法人福知山公立大学業務実績報告書に係る評価結果一覧表

中期計画番号	中期計画	法人自己評価	評価委員会による評価結果（中期計画）							備考	年度計画番号	年度計画	法人自己評価	評価委員会による評価結果（年度計画）								
			評価結果（案）	A	B	C	D	E	平均値（参考）					評価のポイント・委員会確認事項	評価結果（案）	A	B	C	D	E	平均値（参考）	評価のポイント・委員会確認事項
78	省エネルギー、省資源化に取り組む。	3		3	3	3	3	3	3.0		102	・環境省が推奨する空調温度（冷房28度、暖房20度）の設定を徹底することにより、大学全体として光熱費の削減に努める。	3		3	3	3	3	3	3.0		
	評定平均値	3.2	#DIV/0!									評定平均値	3.1	#DIV/0!								
	評価5	0	0									評価5	0	0								
	評価4	1	0									評価4	1	0								
	評価3	5	0									評価3	6	0								
	評価2	0	0									評価2	0	0								
	評価1	0	0									評価1	0	0								

**令和元年度及び中期目標評価（4年終了時）に係る公立大学法人福知山公立大学業務実績報告書に係る評価結果一覧表**

中期計画番号	中期計画	法人自己評価	評価委員会による評価結果（中期計画）							備考	年度計画番号	年度計画	法人自己評価	評価委員会による評価結果（年度計画）							備考		
			評価結果（案）	A	B	C	D	E	平均値（参考）					評価のポイント・委員会確認事項	評価結果（案）	A	B	C	D	E		平均値（参考）	評価のポイント・委員会確認事項
<b>第14 福知山市の規則で定める業務運営に関する事項</b>																							
79	施設及び設備の現状を把握し、老朽化したものについては整備及び改修を計画的に実施する。	3		3	3	3	3	3	3.0			103	・施設及び設備の現状を把握し、計画的に改修を行う。 4号館空調設備及びエレベーターを2020年度を目途に更新するための準備を進める。	3		3	3	3	3	3	3.0		
80	大学の理念、特色等の実現、組織再編等により必要となる施設及び設備の整備を計画的に進める。	4		4	3	4	3	4	3.6	(B委員) 実施内容については理解できるのだが、それらの実績が、中期計画の「計画的に実施」と関連するのかが読み取れない		104	・新学部で使用する1・3号館の改修工事を実施する。4月入札、5月着工、1月工事完了。2月から備品等の搬入を行い、翌年4月の開設に向けて整備する。	4		4	4	4	3	4	3.8	(D委員) 昨年までの基準では3が妥当と考えます。	
81	施設及び設備の適切な維持管理に努める。	3		3	3	3	3	3	3.0			105	・施設及び設備について点検を行う。この結果を考慮し、適切な維持管理に努める。	3		3	3	3	3	3	3.0		
82	職員の能力と実績を総合的に評価する制度を構築、運用するとともに長期的視点に立った採用計画を策定する。	3		3	3	3	3	3	3.0			106	・【再掲59】【再掲67】【再掲75】 人事評価制度について、事務職員については、実施する。 教育職員については、試行する。	3		3	3	3	3	3	3.0		
<b>評定平均値</b>		3.3	#DIV/0!									<b>評定平均値</b>		3.3	#DIV/0!								
評価5		0	0									評価5		0	0								
評価4		1	0									評価4		1	0								
評価3		3	0									評価3		3	0								
評価2		0	0									評価2		0	0								
評価1		0	0									評価1		0	0								